

子どもと女性の健康相談室

86



福島医大医学部
小児科学講座准教授
佐藤 昂論氏

小児集中治療室は英語名である Pediatric Intensive Care Unitの頭文字を取ってPICUと呼ばれるています。これとは別に、生まれたばかりの病気の赤ちゃんや未熟児を収容する新生児集中治療室はNICU (Neonatal Intensive Care Unit)と

数は十分とは言えず、医師の疲弊にもつながっていました。また、多くの小児科医は小児集中治療を経験する機会が少なく、病院間で集中治療のレベルにはバラつきがありました。これは、福島県に限らず、今なお、日本全国の多くの自治体が抱えている課題でもあります。実際、日本のI

と呼ばれるています。PICUは、NICUでの治療を要するお子さん以外の重症なお子さんを受け入れていま

CU開設以来、毎年160〜180人のお子さんがPICUで治療を受けております。PICUで全身管理を必要とするお子さんの病態はさまざまです。重症なお子さんの病気を理解し対応するためには、最新の小児集中治療について学ぶ必要があります。当院PICUでは、東京都や埼玉県の実績のあるPICUで最新の小

高度、最善な医療提供

とされています。4歳の死亡率は先進国の中でも比較的高い状態が続いています。がその要因の一つに、小児の集中治療を専門とする医師とPICUの不足が挙げられています。

県内の基幹病院に勤務し、重症なお子さんの診療に当たった際の初期対応力が身に付く教育にも力を入れていきます。今後も、県内の小児医療の向上に貢献できるように力を入れていきたいと思えます。

福島県の面積はとても広く、以前は、重症なお子さんについては各地域にある基幹病院の小児科で治療に当たっていました。しかし、一般病院の小児科医の

が開設されました。当院PICU開設後は、それまで各地域の基幹病院で治療に当たっていた、肺炎や急性脳症などで人工呼吸器管理を要するような重症なお子さんが搬送されるようになりました。また、外科手術後で全身管理を必要とするお子さん

福島県内では、2017(平成29)年に福島医大付属病院のごども医療センター内に県内唯一となるPICU

が開設されました。当院PICU開設後は、それまで各地域の基幹病院で治療に当たっていた、肺炎や急性脳症などで人工呼吸器管理を要するよう

小児集中治療室

※4月24日に掲載した前回の連載回数は「85」でした。おわびして訂正します。